

消化器内科

新しい経口腸管洗浄剤について

国吉病院
院長 国吉 宣俊 さん



現在、大腸内視鏡検査の前処置の下剤としてゴライテリー(Golytely)²が主流です。これは硫酸ナトリウムとポリエチレングリコールを主成分とした経口腸管洗浄液を用いる方法です。ゴライテリー液は、大量に服

用しても腸管から吸収されたり腸液分泌を刺激することなく、体液への影響の少ない前処置薬で多くの施設で使用されています。本法の長所として検査前日の食事制限や下剤投与が不要なこと、循環動態に対し影響が少

ないため心不全や腎不全の患者さんにも使用可能なことが挙げられます。一方、短所としては、少し独特な油臭さがあるため飲用しにくいことがあります。そこで本年6月に新しい経口腸管洗浄剤モヒプレップが認可されました。これはより高張性の製剤であるためゴライテリー液に比較して服薬量が少なく、腸管洗浄効果においても劣らないことが認められました。また、味においても受容性の改善が認められ飲みやすくなっているようです。

国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科 他